

床面すべり防止加工

ノンスライド



NON SLIDE



TS=TOKYO



雨の日、あなたのフローアは凶器になっていませんか？

ミクロの吸盤効果で**転倒事故**を予防



ノンスライドは見た目を変えずにすべりをストップ

ノンスライド加工は、床に微細な穴を形成することで濡れた床面に吸盤効果を発揮します。石材、タイル床などの見た目を損なうことなく、建物外構アプローチ、エレベーターホールなどに適しています。すべり防止効果は1～2年持続し、メンテナンスにより微細な穴に詰まった汚れを除去することですべり防止効果が復活します。(施工場所や歩行頻度により異なります。)

ノンスライドの施工手順



外観：薄黄色の液体
成分：リン酸、アンモニウム塩
弱酸性 (PH4～5)

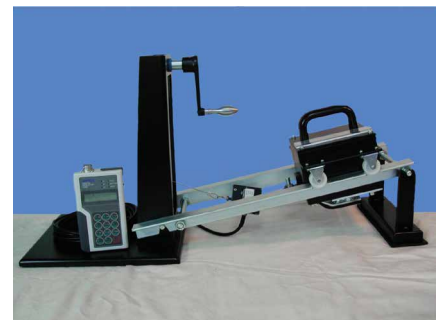
- 1. 予備洗浄**
↓ 泥やホコリを洗浄し、水たまりや余分な水分を除去する。
- 2. ノンスライド塗布**
かくはん
↓ 攪拌して滞留時間をおく。
- 3. 中和**
↓ 重曹水溶液を塗布する。
- 4. すすぎ洗浄・完了**
清水で施工面を洗浄し、完了。



※注意事項

- ・材質により光沢が低下する場合があります。本施工前のテストにより確認を要します。
- ・床面のワックス、コーティングの除去が必要な場合があります。

すべり抵抗測定



■すべり抵抗測定器

すべり抵抗係数 (C.S.R 値) を測定する器械です。ご希望によりノンスライド加工前後のすべり抵抗係数を測定します。(有償)

すべりやすいとは？ ※すべり抵抗係数 (C.S.R 値)

「東京都福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアル」には各項に JIS に定められる試験方法とすべり抵抗係数が示されています。建築分野では、すべり抵抗係数 (C.S.R 値) が 0.4 以下の場合「すべりやすく危険」と評価しています。

■望まれる C.S.R 値

下足で歩行する部分	上足で歩行する部分	素足で歩行する部分	傾斜路部分
0.4～0.9	0.35～0.9	0.45～0.9	0.5～0.9

床材のすべりにくさの指標として、JIS A5705 (ビニル系床材) 附属書に定める「床材のすべり試験方法 (斜め引張型) によって測定されるすべり抵抗係数 (C.S.R. : Coefficient of Slip Resistance)」を用います。C.S.R.=0.00 (最小値)～0.99 (最大値)
参考：東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル



TS=TOKYO

株式会社 TS東京

〒163-0445 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル45F
TEL:03-5325-1696 FAX:03-5324-3723
URL: <http://www.ts-tokyo.co.jp>

※記載内容は変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。
2016.12発行-2017.12迄有効。